

更新後のサービスレベルと施策

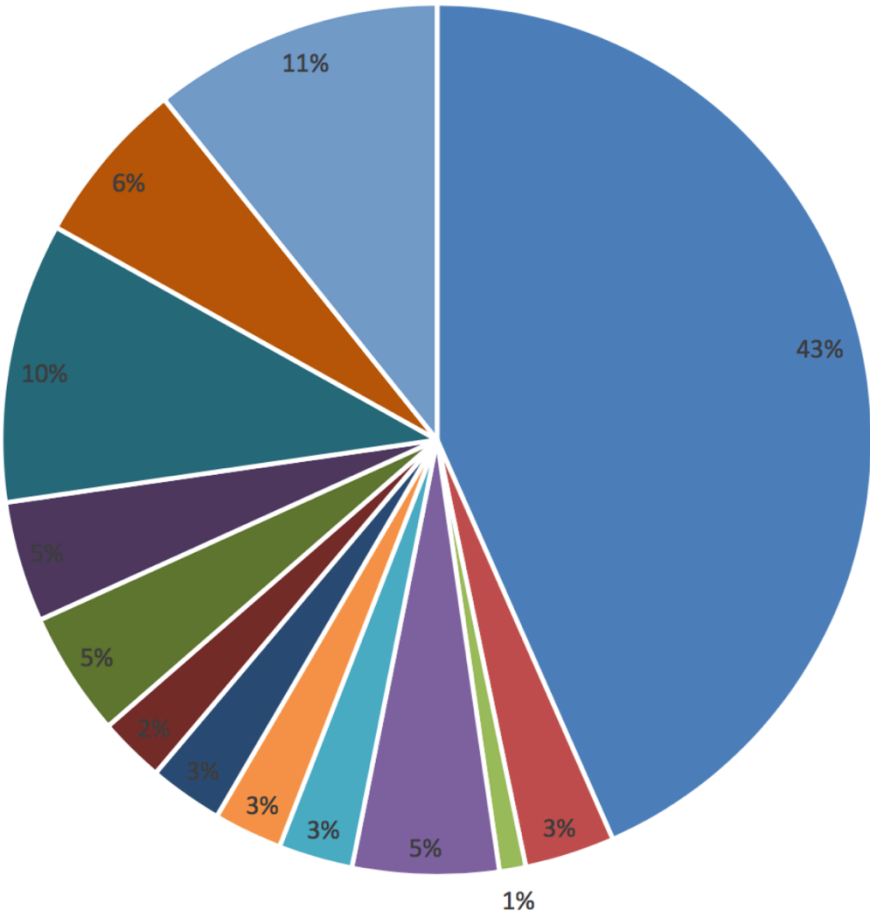
運用コスト削減とサービスメニューの多様化

両構成機関における運用コストを維持したまま、サービスレベルの向上、サービスメニューの多様化を実現

- 大規模ストレージは初期投資が巨額
 - 継続的な需要拡大に答えることが困難
 - 2015年度からデータの完全二重化を取りやめた
 - 年度予算のため柔軟な機材設置に難あり
- クラウド資源の活用を視野
 - 設備投資削減し効率的な機材運用
 - 両構成機関のエネルギーコストなどの運用コスト最適化
 - 長期保存データのアーカイブサービス
- 利用分野の拡大
 - HPCI全採択課題に占める共用ストレージ課題の割合は概ね40%程度で推移
 - 裾野拡大には、新しい分野の開拓が必要
- 負担の公平化
 - 大規模利用課題
 - 成果非公開課題
 - 長期保存データ(容量比40%超が1年以上の長期保存)

i. 最終アクセス月毎のファイル分布(総容量:複製込)

ファイル分布(総容量)

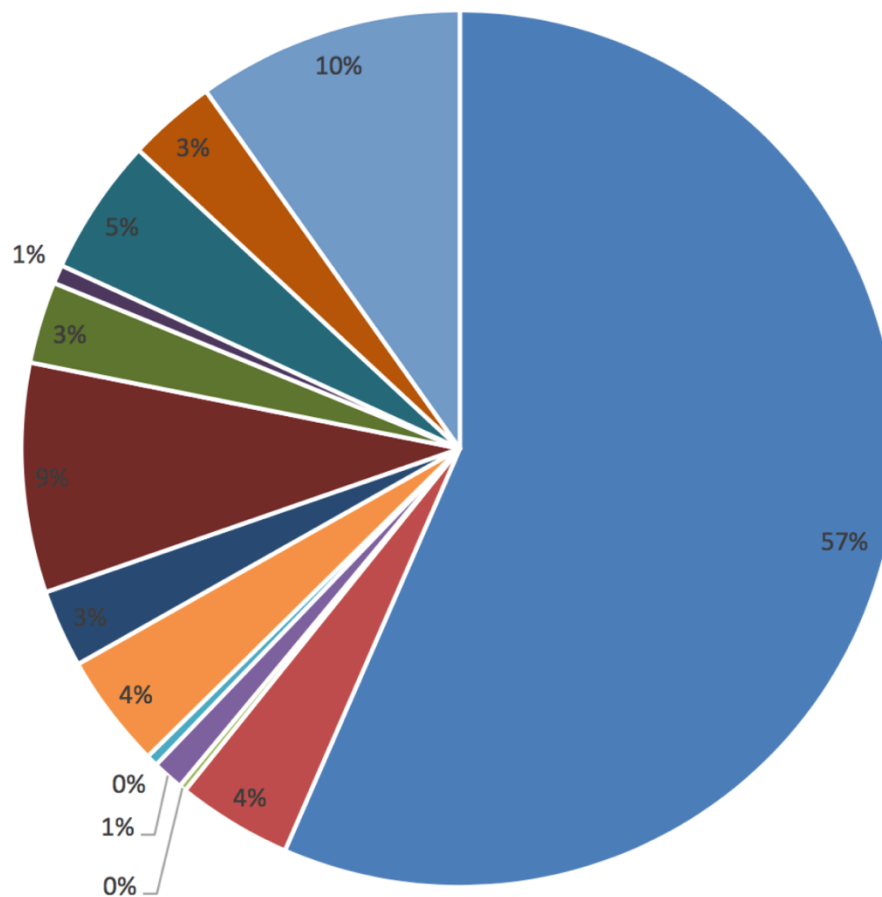


2016/3/31時点		
最終アクセス月	総容量(TB)	比率
2015/3月以前	5,752	43%
2015/4月	442	3%
5月	130	1%
6月	719	5%
7月	365	3%
8月	337	3%
9月	363	3%
10月	323	2%
11月	613	5%
12月	593	4%
2016/1月	1,377	10%
2月	815	6%
3月	1,426	11%
Total	13,255	100%

■ 2015/3月以前 ■ 2015/4月 ■ 5月 ■ 6月 ■ 7月 ■ 8月 ■ 9月 ■ 10月 ■ 11月 ■ 12月 ■ 2016/1月 ■ 2月 ■ 3月

h. 最終アクセス月毎のファイル分布(総数)

ファイル分布(総数)



2016/3/31時点		
最終アクセス月	総数	比率
2015/3月以前	45464651	57%
2015/4月	3412700	4%
5月	203223	0%
6月	925620	1%
7月	347252	0%
8月	3387288	4%
9月	2305125	3%
10月	6803433	8%
11月	2426208	3%
12月	557118	1%
2016/1月	4068031	5%
2月	2617111	3%
3月	7904037	10%
Total	80421797	100%

■ 2015/3月以前
 ■ 2015/4月
 ■ 5月
 ■ 6月
 ■ 7月
 ■ 8月
 ■ 9月
 ■ 10月
 ■ 11月
 ■ 12月
 ■ 2016/1月
 ■ 2月
 ■ 3月

更新後のサービスレベルと施策

2017年度にクラウド活用実証

1. クラウド環境のサーベイ
 1. サービス体系、サービスレベルアグリーメント
 2. 研究機関・大学における利用実績
 3. 料金体系
2. クラウド環境にGfarm環境構築
 1. Linuxホスティング環境にGfarm
 2. 共用ストレージエンジニアリング環境との統合実験
3. クラウドストレージとGfarmの連携
 1. Gfarmのgfpcopyコマンドのような高速コピー

雑感。。。。

- SINETってコストパフォーマンス抜群
- ネットワークは空気というかエーテルと言うか

HPCI共用ストレージ: 更新後(目標)

